

GSIS修士卒業生の新たなる挑戦！

～教育改革に携わる～

教授システム学専攻博士後期課程在籍：仲道雅輝



- ・ 大学職員(18年)から**大学教員・愛媛**へ
- ・ 「**教育の理念・責任**」(ティーチングポートフォリオ)
- ・ 主に携わっている業務

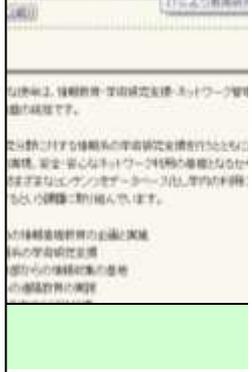
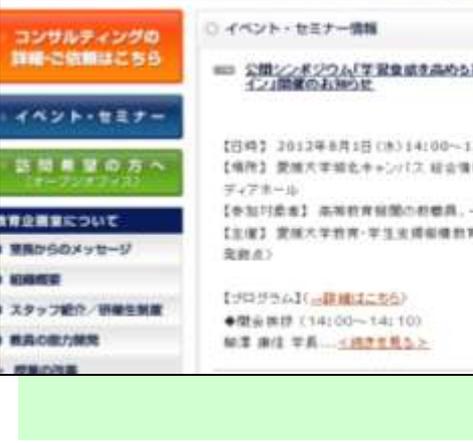


- **授業コンサルテーション、FDカレンダー**(ARCSモデル活用)
- **新入生セミナー**(初年次教育):学習者要因研究へ
- **学生能力開発(リーダーズ・スクール)、ID授業**
- 教職員能力開発拠点事業(文部科学省):**ケラー先生講演企画、FD・SD研修会講師、SPOD(四国地区教職員能力開発)**
- **全学的なeラーニング推進**(6学部、高校、約800名教員対象)
- 愛媛大学学内GP委員、教育改革10年誌編集委員、eラーニング推進部会長
- 大学職員時代:図書館課・学生生活C・通信教育部・情報ネットワーク課・教育開発室・教育デザイン研究室・総合政策課、(主幹)



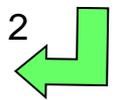
愛媛大学 教育学生支援機構 教育企画室
兼 総合情報メディアセンター 助教

<http://web.opar.ehime-u.ac.jp/>



©2012 仲道雅輝

eラーニング推進機構 eラーニング授業設計支援室
ランチョンセミナー



ティーチング・ポートフォリオ【仲道雅輝】

学生・教職員を輝かせる

～チャレンジしていく自信と勇気を与える～



【図1】教育の理念・責任

授業コンサルテーション(2004年～)

- **目的:**

個別的・継続的、コンサルタントがクライアントに一对一で関与し、共同で授業の改善を目指す試み。

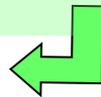
- **手順:**

事前面談、MSF (Midterm Student Feedback)、事後面談

- ①コンサルタントが授業に入り、学生から学習を促進・低下させた教員の言動を聞き取る(その間クライアントは退出)／2色の付箋を使う。
- ②個人で記述させた後、数名からなるグループでコメントを共有させ、全体でのコンセンサスを確認し、コンサルタントは退出(約20分間)
- ③後日、コメントを打ち込み匿名化させ、カテゴリー別に整理する。
- ④教員を事後面談後、学生へフィードバックされる。

- 年間約20名～30名程度に対応(教員5名)

これから事例集やFDティップス集を作成する。



新入生セミナー(初年次教育)

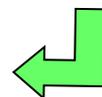
• 学習者の心構え(学習者要因)

「大学での学び入門」、「ノートの取り方」、「情報整理法」、
「読解の基礎」、「レポートの書き方」、「プレゼンテーション」、
「キャリアデザイン」、「タイムマネジメント」など

▪ 工学部、法文学部、理学部、教育学部、農学部で実施

→ **学習者要因についての研究(検討中)**

※受講生への受講後アンケート調査を実施予定



愛媛大学リーダーズ・スクール(ELS)、授業支援

目的:

リーダーならびに将来リーダーになり得る学生が、在学中の様々な問題を解決できるようになり、その経験を通して**人間的に成長**すること。

- 15回のリーダー養成授業、リーダー合宿(2泊3日)、
- リーダシップ関連授業
 - ライフマネジメント:IDの知見を応用し、目標設定の重要性を学ばせ、人生設計に活かす授業を1コマ担当
⇒ **挫折からの成長**
- 学生プロジェクト
 - 「学生による24時間テレビの企画・運営」
 - 「松山のリーダー松山市長との座談会」
 - 「日本・韓国リーダー研修会」



研修会講師 (FD・SD)

シラバスの書き方、ティーチングポートフォリオ、スタッフポートフォリオ、授業デザインワークショップ、コーディネート力養成、観察力養成講座、クリッカー入門、アクティブラーニングスペースの環境構築、クラスルームコントロール、様々な講義法、次世代職員リーダー養成研修、など

「eラーニング専門家スタッフが支える大学教育のイノベーション」(2007年)

「職員による教育支援の企画・立案マネジメント」(2008,2009,2010)

「科目ガイダンスVODについてー全学的なe-learning推進ー」(2010)

「e-learning推進の課題解決・ポイント・組織構築・コンテンツ開発技術の研修」(2010)

「愛媛大学附属高校でのリーダー養成研修」 「FDファシリテーター養成講座」(2011)～

「リーダー養成セミナー」 「ポートフォリオ作成ワークショップ」 「リーダに必要となる環境構築法」

「リーダーの条件ー判断力・決断力ー」 「次世代リーダー養成研修」

「ファカルティ・ディベロッパー養成研修」 「愛媛大学の学生支援～ELSとSCVの取組」

「愛媛大学医学部リーダー養成研修」 「効果的な授業改善の方法」 「リーダ養成セミナー」

「IDを活用した職員による企画立案マネジメント」 「ピア・サポート研修会ー組織とメンバーの双方にハッピーにつながるためのメンタリング」 「組織を上手く動かすには～リーダーができること～／愛媛大学ELSワークショップ」

「SDプログラム開発ワークショップ」(社会連携系プログラム開発)

「愛媛大学リーダーズ・スクール(ELS)による学生リーダー養成のコツ／FD研修会」

「教える仕事に就きたい大学院生のための授業デザインワークショップ」



SPOD Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

合計34校の連携(参加校)

・求められるFDの実質化

- F-1: FDerの養成 (a) FDer養成のための体系的プログラム開発、資格要件の検討
(b) FDer養成のための研究員及びインターンシップの受入
- F-2: 新任教員、大学院生、ポスドク向け標準的(プレ)FDプログラムの開発、実施
(TAプログラム(階層別、専門分野別)を含む)
- F-3: 各種FDプログラムの体系化・標準化に向けた開発、実施
- F-4: 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ)の開発

・職員的能力開発(SD)

- S-1: SDプログラム(階層別、専門分野別)の開発、実施
 - (a) 経営者、管理者養成プログラムの開発、実施
 - (b) 専門職養成プログラムの開発、実施
 - (c) 次世代リーダー養成プログラムの開設、実施
- S-2: 職員業績記録(スタッフ・ポートフォリオ)の開発
- S-3: 職員キャリアアップサポートの実施

SPOD参加校

【合計】34校 (平成21年1月)

大学16、短期大学12、専門学校6

【愛媛】10校

(大学⑤)

愛媛大学(国)、愛媛県立医療技術大学(公)、
聖カタリナ大学(私)、松山大学(私)、
松山東雲女子大学(私)

(短期大学④)

今治明德短期大学(私)、愛媛女子短期大学(私)、
松山東雲短期大学(私)、松山短期大学(私)

(高等専門学校②)

新居浜工業高等専門学校(国)
弓削商船高等専門学校(国)

【香川】9校

(大学④)

香川大学(国)、香川県立保健医療大学(公)
四国学院大学(私)、高松大学(私)

(短期大学③)

香川短期大学(私)、瀬戸内短期大学(私)、
高松短期大学(私)

(高等専門学校②)

高松工業高等専門学校(国)、
詫間電波工業高等専門学校(国)

【高知】6校

(大学③)

高知大学(国)、高知女子大学(公)、
高知工科大学(私)

(短期大学②)

高知短期大学(公)、高知学園短期大学(私)

(高等専門学校①)

高知工業高等専門学校(国)

【徳島】7校

(大学④)

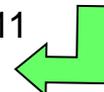
徳島大学(国)、鳴門教育大学(国)、
四国大学(私)、徳島文理大学(私)

(短期大学③)

四国大学短期大学部(私)、徳島工業短期大学(私)、
徳島文理大学短期大学部(私)

(高等専門学校①)

阿南工業高等専門学校(国)



FD／SDとは

【ファカルティ・ディベロップメント(FD)】

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。

具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。

なお、大学設置基準等においては、こうした意味でのFDの実施を各大学に求めているが、**FDの定義・内容は論者によって様々**であり、単に授業内容・方法の改善のための研修に限らず、広く教育の改善、更には研究活動、社会貢献、管理運営に関わる教員団の職能開発の活動全般を指すものとしてFDの語を用いる場合もある。

【スタッフ・ディベロップメント(SD)】

事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組を指す。

「スタッフ」に教員を含み、FDを包含する意味としてSDを用いる場合(イギリスの例)もあるが、ここでは、FDと区別し、職員の職能開発の活動に限定してSDの語を用いている。

中央教育審議会 学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)用語解説 から抜粋

全学的なeラーニング推進

国立大学において（法文・教育・理学・工学・医学・農学・附属高校）

教員：約800名

導入：①学部ごとのニーズ把握、②学部間連携、③利用者支援（教員・学生・職員）、
④事務局間連携、⑤教員・事務職員の意識改革、⑥開発支援体制確立、⑦愛大GP
⑧コンテンツ制作（プロトタイプ）、全体構想

普及：①ガイドライン整備、②事例・ヒント集、③研修会開催、など
iPad モバイル端末、マルチブラウザ、マルチOS、

・ iPad



・ iPhone



・ Android
・ タブレット



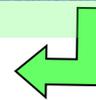
・ Android
・ スマートフォン



私立大学において（社会福祉・経済・国際・健康・福祉経営・情報）

教員：約180名

導入：①開発支援体制・ガイドライン、②プロトタイプ、③インセンティブ、
普及：①ICT活用取組支援制度、②ICT活用能力基準アンケート実施、
③研修会開催、④事例・ヒント集発行



愛媛大学

- ①コンテンツ作成
- ②専用アップローダーでコンテンツをアップロード



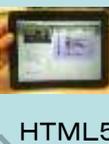
- ・自校史(共通)
- ・安全衛生
- ・情報セキュリティー

- ⑤ SCORMデータをLMSに設定(アップロード)

愛媛大学のLMSサーバ



- ③ データ変換!!



クラウドサーバー



- ④ SCORMデータを取得

SCORM連携

動画コンテンツ

動画コンテンツ

附属高校 iPad 授業 理科教材...

学生・教職員がサーバにアクセス

iPad



Android タブレット



愛媛大学 学生・教職員



- ⑥ コンテンツ視聴者用画面からログイン
- ⑦ コンテンツ一覧画面でコンテンツを選択
- ⑧ コンテンツを視聴

